



中田隆幸議員

問

1.学校の2学期制及び3学期制は  
2.今後、学校統合は  
3.空家対策・放置住宅は  
撤去の助成及び防犯対策を

**質問** 町内の小中学校では、現在、学期制を旧本川根では二学期制を、旧中川根では三学期制で行っているが、今後この二制度で行くのか。

**教育長** 学期とは何かですが、一年間の教育計画を立てる時に、一年間では期間が長過ぎるので、学年を期間に区切ります。それが学期です。区切りに当たっては、児童生徒への配慮から、①教育内容の区切り。②学習活動の区切り。③生徒・教員の気分を一新して教育効果を高める区切り。又、①長期休業日との関連。②地域行事との関連。③用務の繁忙等を考えております。明治五年に学制が發布されましたが、当時、何学期かは寡聞にして存じません。明治19年に会計年度が四月始期となり四月入学と成ったのを機に、春・夏・冬休みがあったので三

学期制が主流と考えられます。さて二学期制、三学期制にも利点欠点があります。川根本町の学校管理規則では、「学期は協議して定める」とあり校長及び教育委員会が協議しております。現状ではどちらが有利と言う事もありませんので、どちらも選択できる事に成っております。

**質問** 教育の将来を見込んだ中で、学校統合の考え方は。  
**教育長** 本町には、四小学校に355名、二中学



中川根中学校・中央小学校

校に228名が学んでおります。現在、小規模校ながらも子供の頑張りのもと、校長を中心とした教育集団の指導の元で、どこに出しても恥ずかしくない学校で備・財政面では、厳しい状況ですので、今後学校統合は避けて通れない課題と認識しております。

**町長** 基本的には教育長の認識と同じであります。学校が地域のコミュニティまた核に成っておりますので、町民・PTA・地域と議論して考えていく必要があると思います。



町内の空家

**質問** 町内の空家対策をお伺いしたい。  
**町長** 当町の空家は確認しておりません。昭和55年世帯数3千638世帯、現在3千596世帯です。差引き600世帯が空家と思われま

**質問** 放置空家の撤去等に資金援助は、防犯対策は。  
**企画環境課長** 現在は考えておりません。防犯対策もしていません。  
**町長** いわゆる人が住んでいない住宅、廃屋も含めて状況を把握して、防災上からも、所有者の責任を明確化し対応等を指導していく事も今後必要と考え、

実態調査、利活用、又防犯上も今後の課題として検討したい。

答

1.現時点では2制度で行っていく  
2.将来、統合は避けて通れない課題と認識している  
3.現時点では解らない、助成等は無い  
調査・活用・防犯は今後検討したい